

## 高齢化と中小企業パフォーマンス

胥 鵬

## 目 次

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. はじめに       | 4. 高齢化、投資と成長 |
| 2. 少子高齢化と企業業績 | 5. 結び        |
| 3. 高齢化と企業業績   |              |

少子高齢化は、単に労働力の減少だけでなく、生産性、経済成長、投資、消費と企業の新陳代謝に重大な悪影響を及ぼす。高齢化で新陳代謝が低下すると、収益の低い小規模企業が収益の高い新規参入企業と取って代わる可能性は少なくなる。本稿では、高齢化が進むほど小規模企業の収益性と成長性が低下することを、実証分析に基づき議論する。

## 1. はじめに

少子高齢化は、労働力の減少だけでなく、生産性、経済成長、投資、消費などに重大な悪影響を及ぼす。Bloom *et al.* [2010]、Aksoy *et al.* [2019] は、OECD各国の高齢化が経済成長率低下と投資減少につながると分析している。Umeda *et al.* [2017] は、国際パネルデータに基づいて、高齢化による国内投資減を明らかにした。Maestas *et al.* [2023] は、米国州別の高齢化と一人当たりGDPの関係を分析し、高齢化が生産性低下と一人当たりGDP減に寄与すると明らか

にした。Fujita and Fujiwara [2023] のマクロ分析では、1970年代以降の高齢化とともに一人当たり消費成長率が低下していた。

経済成長、投資、消費のほかに、高齢化に伴う若年層の人的資本形成の遅れが起業の低下をもたらすというLiang *et al.* [2018] や、高齢化が進むほど強まる消費慣性が新規参入を妨げるというBornstein [2021] の研究が挙げられる。さらに、高齢化に伴う起業などの新規参入低下の結果、技術陳腐化の速度が低下し、廃業や倒産などの企業間の資源再配分も減る。高齢化による参入と退出が共に低下することに関連した研究としては、



胥 鵬 (しょ ほう、Xu, Peng)

法政大学教授。1992年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。同年4月、法政大学経済学部専任助手。法政大学経済学部助教授を経て、2001年4月より現職。主な著書に、*Excess Capacity and Difficulty of Exit: Evidence from Japan's Electronics Industry* (共著、Springer、2021年) がある。